

平成18年度小豆生育状況 (6月15日現在)

平成18年6月21日 各支庁発表

支庁	区分		本年	平年差	評価	生育期節	遅速日数	摘要
十勝	草丈	cm	1.9	59%	短い	出芽 96%	遅4日	6月上旬はオホーツク海高気圧の影響により曇雨天の日が続き9日～10日にかけて、一部地域で100mmを越すまとまった降雨があるなど、降水量は平年比215%と多く、日照時間は平年比71%と少なかった。この期間の平均気温は、平年に比べ1.8 低く低温で経過した。中旬に入っても曇雨天が続き期間を通じて日照時間は少なく平年比59%だった
	葉数	枚	-	-	-			
	分枝数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	着莢数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
空知	草丈	cm	0.7	-1.6	短い	出芽	遅5日	6月前半の気象は、オホーツク海高気圧の影響で平年より気温は低く、また低気圧や気圧の谷の影響で平年より1.4 低く、降水量、日照時間ともに平年より少なかった。今後1ヶ月の気象は、気温は平年並みか低く、降水量日照時間は平年並みの見込みである。
	葉数	枚	-	-	-			
	分枝数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	着莢数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
網走	草丈	cm	1.2	46%	短い	出芽期	遅4日	6月上旬は、3～4日は高気圧に覆われて晴れた所が多かったが、その他の日は平年より低い日が続いた。降水量は、各地で平年並みか平年より多く、日照時間は、3～4日及び7日を除いて少ない日が続いた。11日から15日は、気温は平年並みで、降水量は少なく、日照は平年より多かった。
	葉数	枚	-	-	-			
	分枝数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	着莢数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			
上川	草丈	cm	2.2	92%	やや短い	出芽期	遅1日	上旬は低気圧や気圧の谷の影響で、ぐずつした天気の日が多かった。特に10日は低気圧の影響でまとまった雨が降った。11日以降は天候がやや回復し晴れ間も出て、14日からは気温は高めとなった。気温は平年より低く、降水量は期間を通して少なめ、日照時間は平年より少なかった。
	葉数	枚	-	-	-			
	分枝数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	着莢数	本/m <sup>2</sup>	-	-	-			
	主莖節数	節	-	-	-			
	播種	%	-	-	-			

気象概況(十勝)

帯広観測所 ( )は平年比

5月下旬	平均気温	降水量	日照時間
	13.0 (+0.8 )	79.5mm(291.2%)	53.6時間(79.4%)
評価	やや高い	多い	少ない

6月上旬	平均気温	降水量	日照時間
	11.7 (-1.8 )	79.5mm(291.2%)	39.6時間(71.2%)
評価	低い	多い	少ない

## 総評

播種作業の遅れを5月中旬の好天により、回復傾向にあった北海道の農産物ですが、6月に入ってオホーツク高気圧の影響により、期間を通じて軒並み低温、日照不足の為、生育状況は遅延気味となっております。特に心配されているのが金時で、発芽不良が目立っております。

面積については、大豆の面積は大幅に増えるものの、小豆については指標面積である25,200haと昨年に比べ3,000ha減少する見通しとなっております。初期成育の低温とともに今後の生育に不安を初期成育の低温により生育は停滞しており今後の気象次第ですが、スタートは非常に悪い状況となっております。